

## ムモンアカシジミ

澄川森林でアカシジミを 3 頭捕りましたが、いずれもムモンアカシジミでした。採集日は右図上から 2018 年 8/26, 8/20, 7/30 です。札幌圏内に棲息するアカシジミは 4 種です。アカシジミ、キタアカシジミ、ウラナミアカシジミとこのムモンアカシジミです。翅表での差は殆どありませんが、翅裏ははっきりと種類が区別できます。

左図上からアカシジミ、ウラナミアカシジミ、です。右下のムモンアカシジミとの違いを確認してください。キタアカシジミの裏側は殆どアカシジミによく似ています。



ムモンとは無紋の意味で（紋が無い）確かに紋がありません。

この蝶の生態はかなり面白くて、アリとの共生が報告されています。アリたちがアブラムシを飼育していることはよく知られていることですが、そのアブラムシを食べるこのムモンアカシジミの幼虫も養育しているらしいのです。アリに対して何らかの恩典を備えているのであります。

シジミチョウ科なので大きな蝶ではありませんが、ミドリシジミよりは大きく、エゾヒメシロチョウとおなじ程度なのです。

筆者愛用の「札幌の昆虫」には掲載されていますが、「フィールド図鑑チョウ」（東海大学出版会）では、「あまり見かけない蝶」とされています。

そんな蝶が澄川森林で 2018 年夏に 3 頭も採れたことは、澄川森林の生物多様性が豊であることを証明するものと確信するものであります。（記 高野）

